

関係者各位

令和元年5月7日
宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大333細胞/ml(香川県の場合、注意報:100細胞/ml、警報:1,000細胞/ml)確認されました。現在、宿毛湾全体にて当プランクトンの増殖が確認されており、飼育魚のへい死の可能性が十分に考えられるため、海色や飼育魚の状態を注視するとともに、給餌作業や出荷作業を自粛し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、大島中央、小筑紫中央及び栄喜については海水100ml→1mlの濃縮によるプランクトンの検鏡を、その他の地点については海水1ml中のプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	アカシオ サンガイネア
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ml)	
池島 採水時間 9:12 透明度 - m	3.0	19.9	34.3	7.2	3	0
咸陽島 採水時間 9:25 透明度 - m	5.0	19.9	34.3	7.7	76	3
宿毛新港 採水時間 9:33 透明度 - m	5.0	19.9	34.4	6.8	4	16
藻津②(別図⑩) 採水時間 9:47 透明度 - m	5.0	20.2	34.6	6.1	58	0
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:55 透明度 - m	5.0	19.6	34.3	7.5	250	1